

情報フレームワーク活用のご提案

ISMSクラウドセキュリティ認証取得コンサルティング

非営利セクター
も対象です！

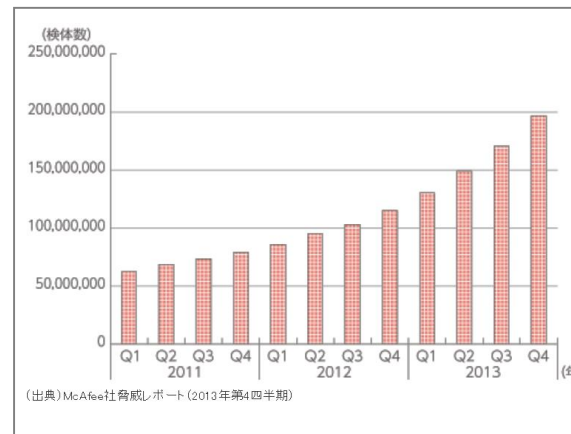
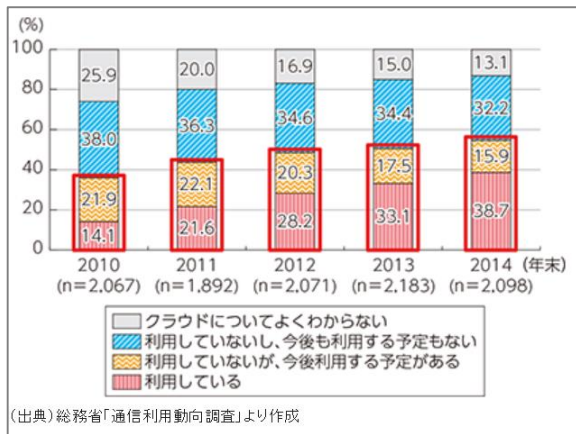


Winner's & Company, Inc.

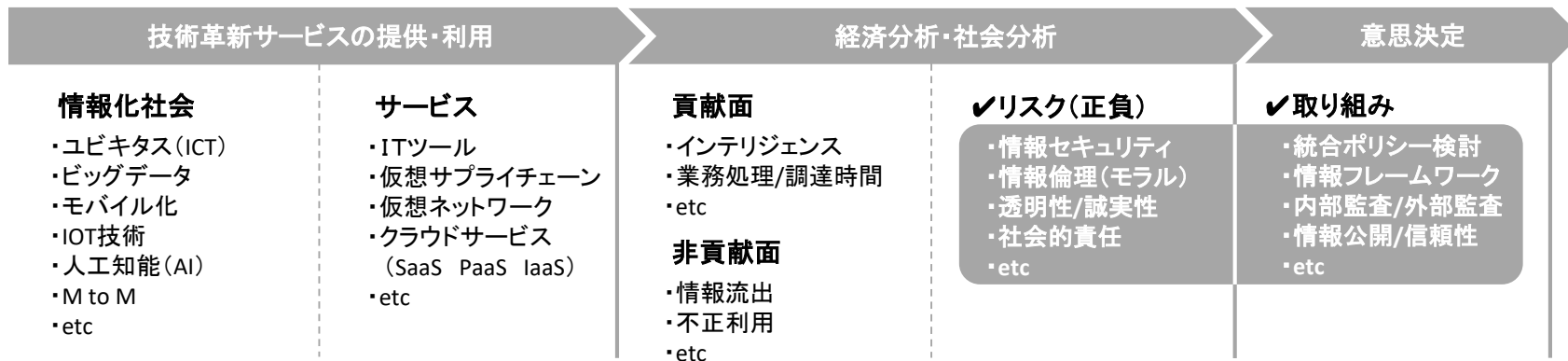
価値創造ビジネスの開発から「ニュー・フロンティア」の開拓を実現する

<情報化社会の現状>

情報化社会における技術革新は目覚ましく、特に2010年以降、企業・組織における ICTの利活用、クラウドコンピューティングの導入が進み、インテリジェンス活動や業務処理効率などが飛躍的に向上しています。一方で、情報資産の流出や不正利用などが起こり、情報ガバナンスの欠陥や情報セキュリティ上の脆弱性などが取り沙汰されています。



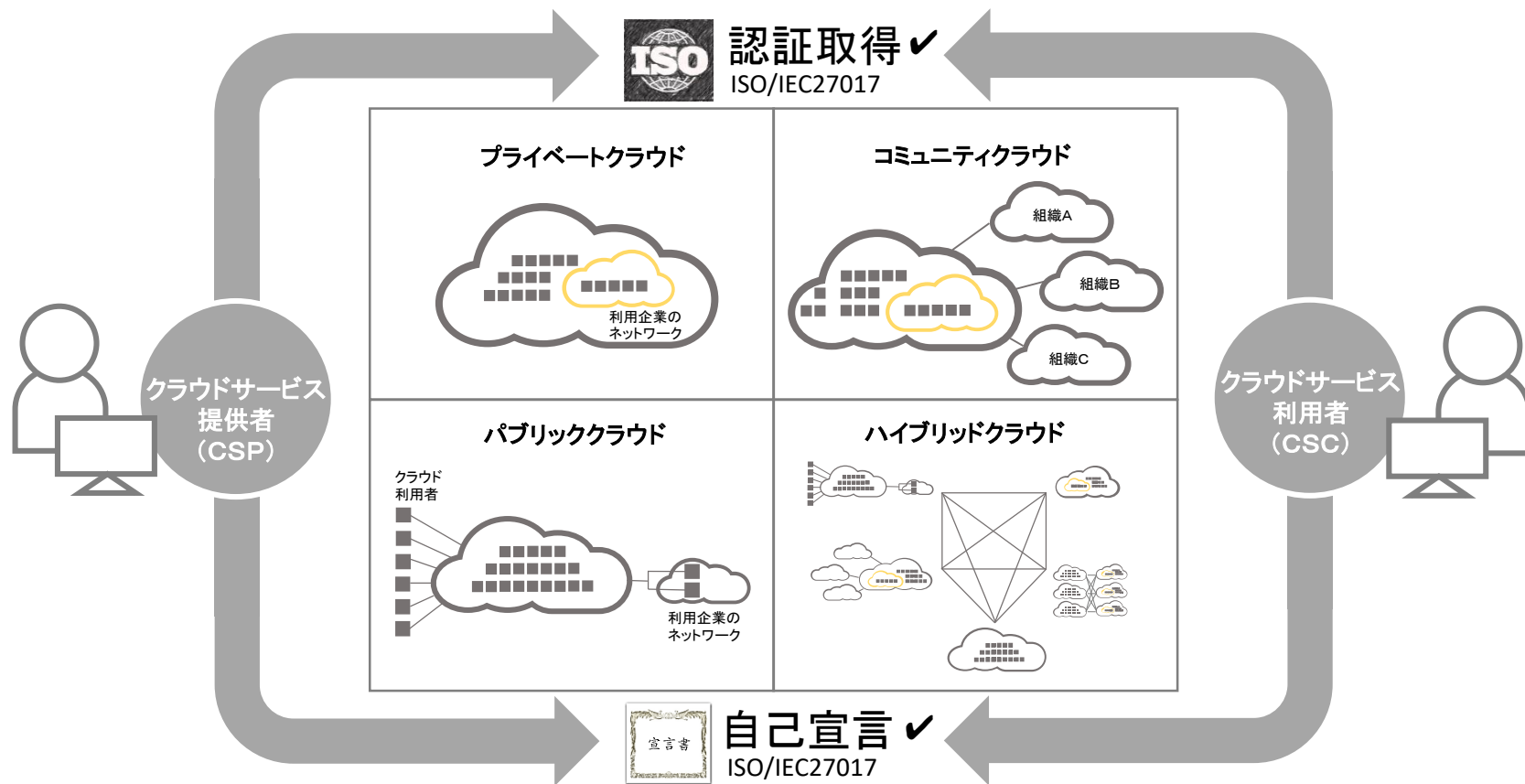
これら現実の問題・課題を踏まえ、より安全快適に ICTツールやクラウドサービスを提供・利用できる要件を再確認すると共に、ステークホルダーの信頼を高める意思決定(取り組み)の検討が求められています。



<ISMSクラウドセキュリティ認証とは①>

今回は、クラウドサービスを提供・利用している企業・組織を対象に、ISMSクラウドセキュリティ認証の取得（または自己宣言）支援についてご提案します。

クラウドサービスには、IT投資や運用コストを軽減できるメリットがある反面、自前の情報セキュリティ態勢や管理基準と、クラウドサービスのセキュリティ環境に差異が発生するデメリット（課題）があります。しかし、クラウドサービスの活用価値は大きいため、リスクベネフィットの考えに立ち、デメリット（課題）の解消に大きく前進した取り組みをご提案します。



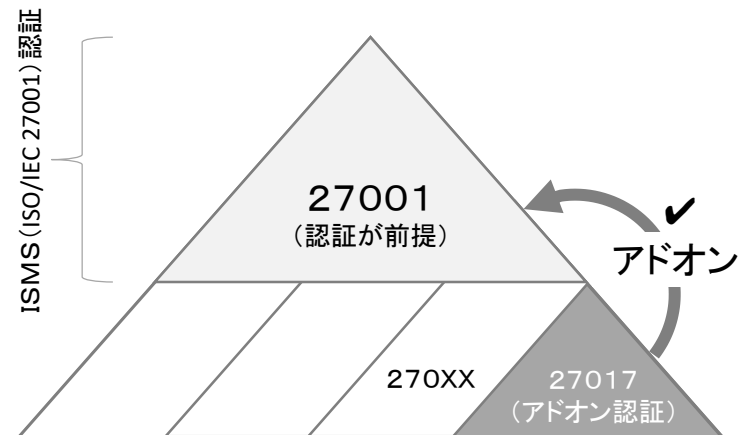
<ISMSクラウドセキュリティ認証とは②>

情報セキュリティの国際規格である ISMS (ISO/IEC 27001) 認証を既に取り得た企業・組織に、付加価値を追加して保証することをアドオン認証(付加価値認証)といいます。ISMSクラウドセキュリティ認証は、特定の分野固有の規格に準拠している状態を保証するアドオン認証の一つです。

但し、ISMS認証を取得していない企業・組織の場合は、ISMSを含め自己宣言での自主運用になります。

【ISO27017とは】

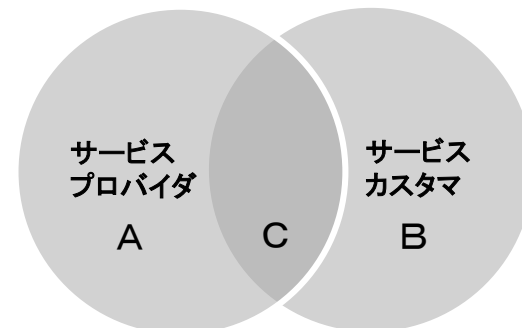
国際標準化機構(ISO)より2015年に発行されたクラウドセキュリティに関する国際規格です。この規格は、クラウドサービスの提供及び利用に関する情報セキュリティ管理策のためのガイドラインです。情報セキュリティ管理策の実践のための規範として広く利用されている国際規格ISO/IEC27002をベースとして、クラウドサービス固有の追加の実践手引きや追加の管理策が示されています。



ISO27017を認証取得できる事業者は、以下のA～C のクラウドサービスを提供している事業者・クラウドサービスを利用している事業者が対象となります。

- ✓ A : サービスプロバイダ
サービス (IaaS、PaaS、SaaS) を提供している事業者
- ✓ B : サービスカスタマ
サービス (IaaS、PaaS、SaaS) を利用している事業者
- ✓ C : サービスプロバイダ+サービスカスタマ
サービス (IaaS、PaaS、SaaS) を利用し、
サービス (IaaS、PaaS、SaaS) を提供している事業者

非営利セクター
も対象です！



<コンサルティング方針>

✓ISMS (ISO/IEC 27001) 対応

認証取得(第三者認証)、または自己宣言(自主運用)をご検討の企業・組織に、短期間、低コストで、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)が構築・運用できるようにご支援します。

✓ISMSクラウドセキュリティ(ISO/IEC 27017)対応

企業・組織が提供・利用するクラウドサービスの形態にあわせて、ISMSクラウドセキュリティの規格を柔軟に組換え、効率的な手順・方法をご提案します。

✓専門性の高いコンサルタントが対応

システム開発経験、運用経験、構築経験、監査経験でのノウハウを活かし、ISMS及びISMSクラウドセキュリティが、現場において構築・運用しやすい管理策をご助言・ご提案します。

お問い合わせ

TEL : 03-5475-6568

FAX : 03-5475-6569

E-Mail: info@winners-co.jp

<http://www.winners-co.jp>

ウィナーズ・アンド・カンパニー株式会社
経営ソリューション部門

